



MS341-47008・MS341-47009  
フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はプリウスα用TRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
本書は上記TRDフロントスポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS341-47008-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	プリウスα MC後 '14.11~
MS341-47008-C1	アティチュードブラックマカ (218)	
MS341-47009-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

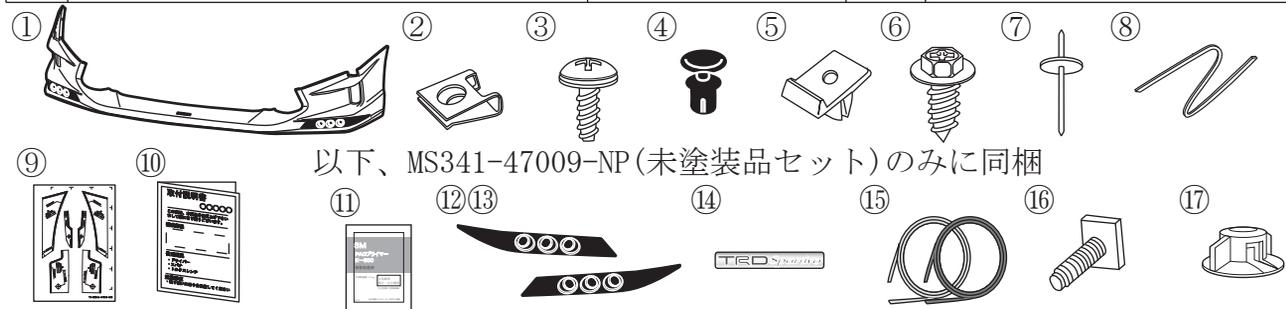
\*別売りデイトムランニングランプ (MS403-47003)の装着は、本商品との同時装着が必須になります。  
本商品を装着後に、別売りのデイトムランニングランプを追加で装着することは出来ません。

■構成部品一覧表

No.	品名	品番	個数	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	Jナット		2	
③	タッピングスクリュー		2	5×16
④	クリップ		4	
⑤	グロメット		2	
⑥	タッピングスクリュー		2	6×16
⑦	リベット		5	
⑧	リップモール		1	
⑨	型紙		1	
⑩	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MS341-47009-NP (未塗装品セット) のみに同梱

No.	品名	品番	個数	備考
⑪	PACプライマー		1	K-500
⑫	別ピースRH		1	
⑬	別ピースLH		1	
⑭	エンブレム		1	
⑮	モール		(各1)	黒/グレー L=1300mm
⑯	スクエアヘッドボルト		2	M6×15
⑰	クリップナット		2	



以下、MS341-47009-NP (未塗装品セット) のみに同梱

## 取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



### 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



### 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



### アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行なっていただくこと

### ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

### ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

### 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

### 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

### 未塗装品の塗装作業について

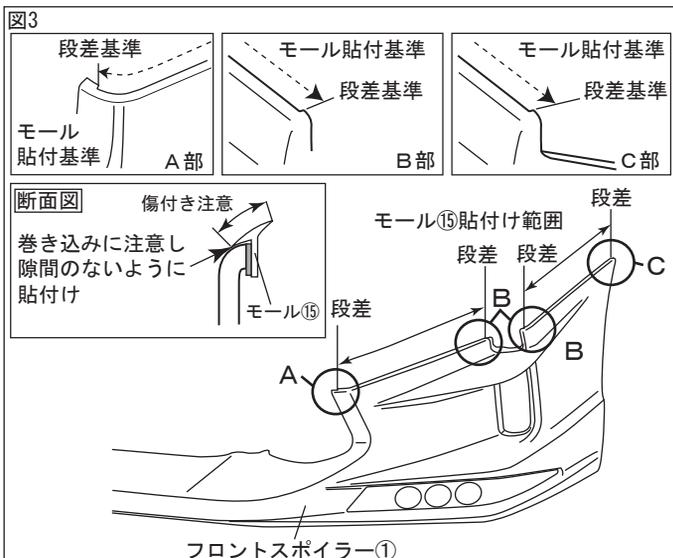
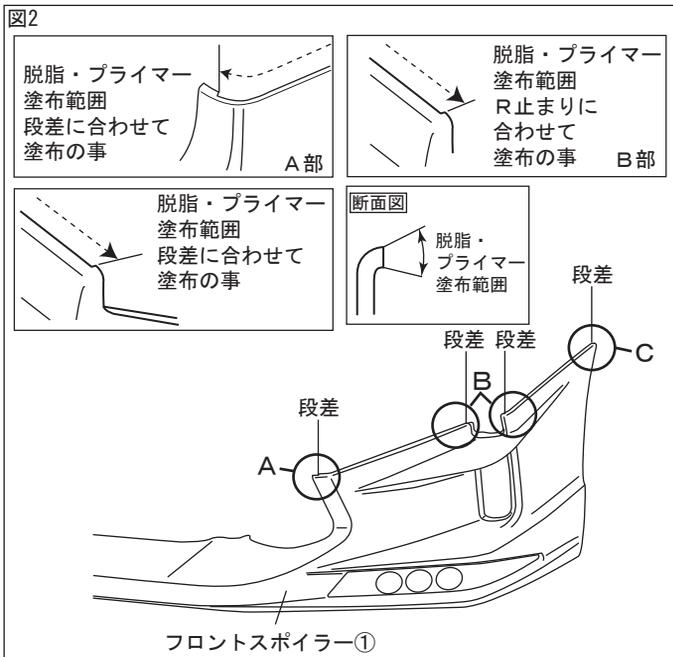
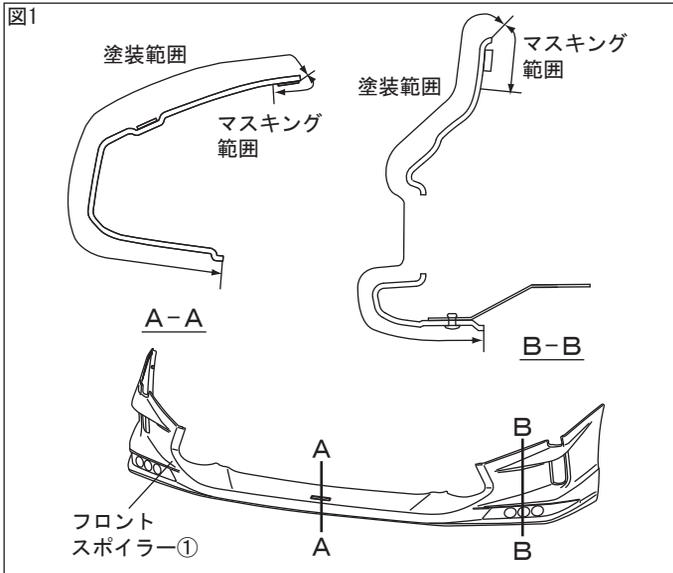
- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形が無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

### 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## ■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-47009-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



### □フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにフロントスポイラー①を車両色に塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶けるおそれがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

### □モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー⑩を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

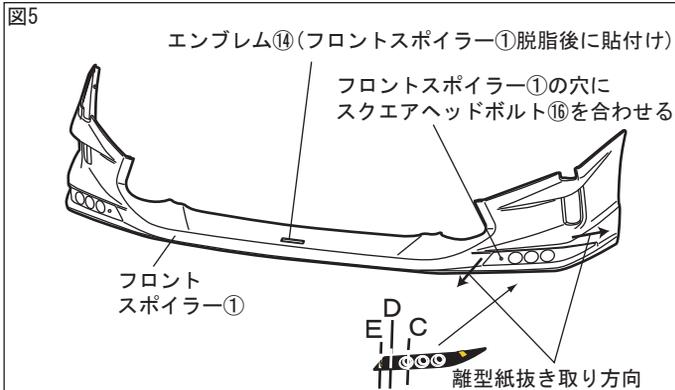
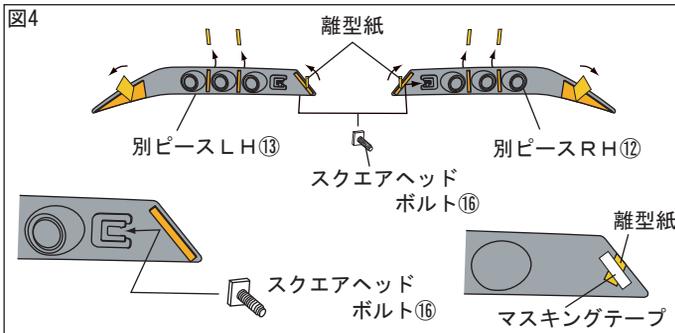
2. 図3のようにフロントスポイラー①に、モール⑮の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。

{49N(5kgf)以上}

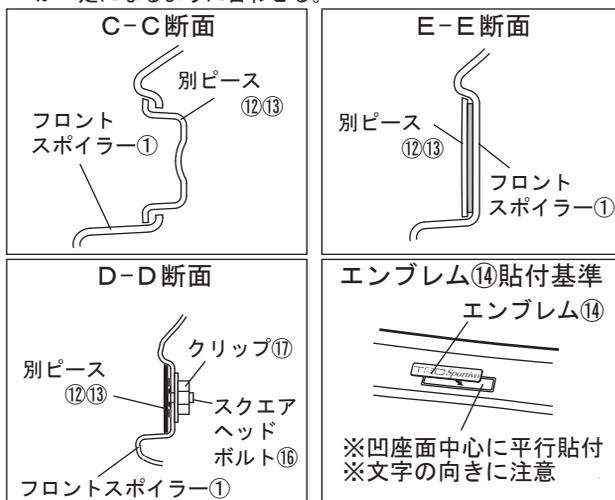
モール⑮は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール⑮は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

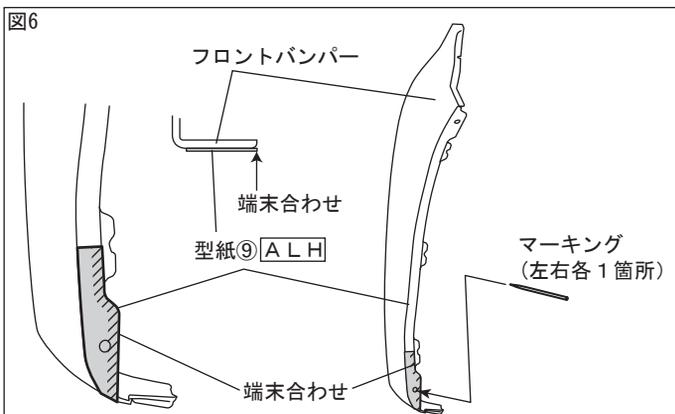
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。



※フロントスポイラー①に対し、別ピース⑫⑬の外周クリアランスが一定になるように合わせる。



△注意：デイトムランニングライト取付けの場合は、  
デイトムランニングライトの取付・取扱要領書の指示に従い取付け作業を行ってください。



## □別ピースの取付け

1. 別ピース⑫⑬の両端の両面テープ、三角両面テープの離型紙を、図4のように中央から外側に約30mm剥がし、折り曲げておく。
2. 別ピース⑫⑬中央の両面テープの離型紙を全て剥がす。

△注意：三角の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

3. 図4のように別ピース⑫⑬にスクエアヘッドボルト⑯を入れる。

4. フロントスポイラー①の別ピース⑫⑬貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残る、テープが剥がれる原因になります。

5. 図5のようにフロントスポイラー①の穴にスクエアヘッドボルト⑯を差し込み、両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。 {49N(5kgf)以上} 圧着する際に、フロントスポイラー①と別ピース⑫⑬の外周のスキマが一定になっているか確認する。  
貼付後、D-D断面のようにスクエアヘッドボルト⑯をクリップ⑰で固定する。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

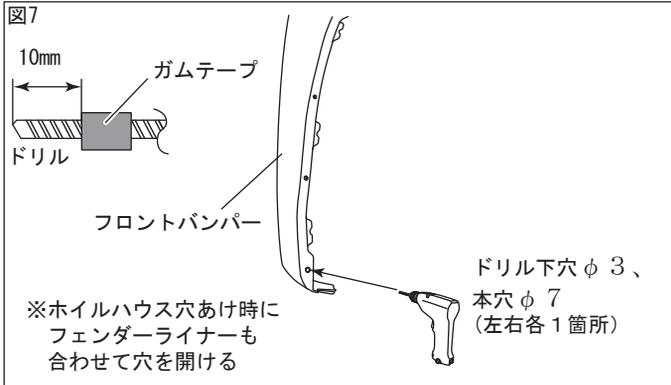
6. 図5のように脱脂した座面にエンブレム⑭を貼付ける。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残る、テープが剥がれる原因になります。

## □取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、LHも同様に行ってください。

1. 型紙⑨ [ALH]、[ARH]を図6のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼付けマーキングする。(左右各1箇所)

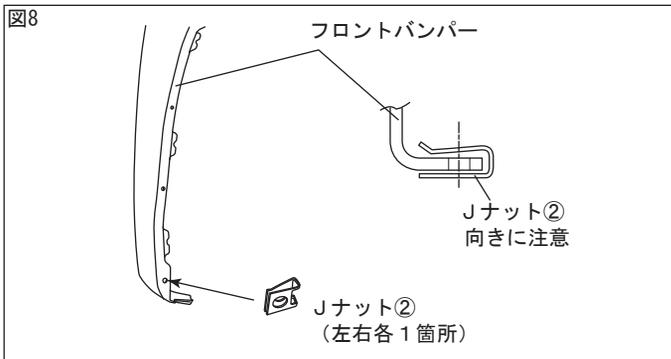


- 図7のように $\phi 3$ 、 $\phi 7$ のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、 $\phi 3$ のドリルを使用してホイールハウスのマーキング位置に下穴をあける。  
(左右各 1箇所)
- 図7のように下穴に $\phi 7$ のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(左右各 1箇所)

**アドバイス：**穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

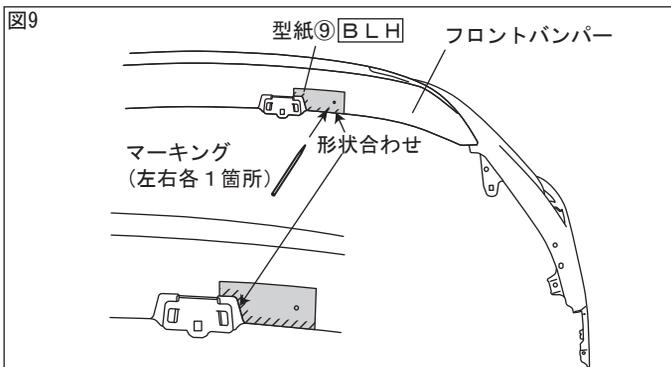
**注意：**作業時は保護メガネを着用してください。

**注意：**バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

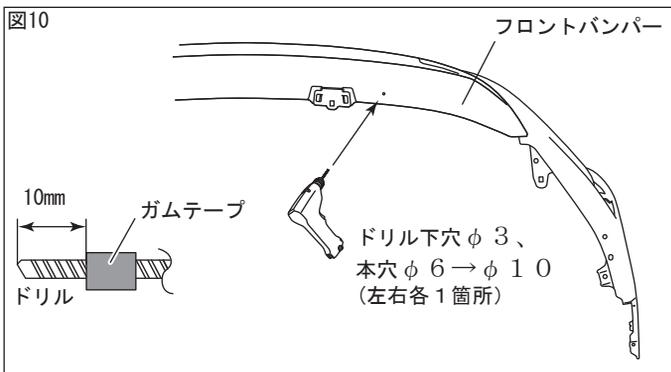


- 図8のようにフロントバンパーホイールハウス部にJナット②を差し込む。  
(左右各 1箇所)

**注意：**Jナット②の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー③が取り付けなくなります。



- 型紙⑨ [BLH]、[BRH]を図9のようにフロントバンパーの下側部に貼付けマーキングする。  
(左右各 1箇所)

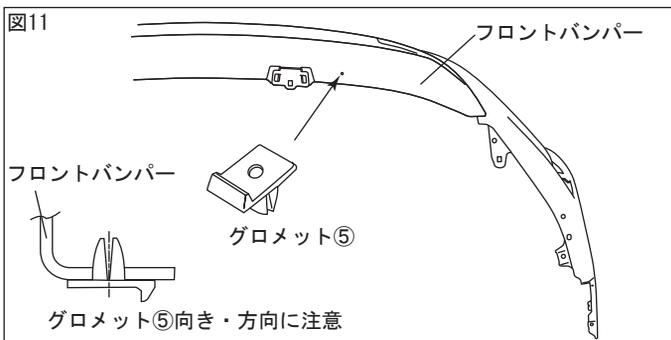


- 図10のように $\phi 3$ 、 $\phi 6$ 、 $\phi 10$ のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、 $\phi 3$ のドリルを使用してホイールハウスのマーキング位置に下穴をあける。  
(左右各 1箇所)
- 図10のように下穴に $\phi 6$ 、 $\phi 10$ のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(左右各 1箇所)

**アドバイス：**穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

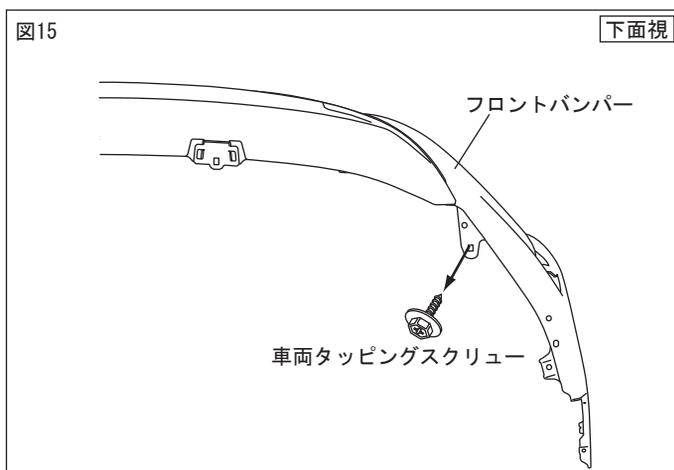
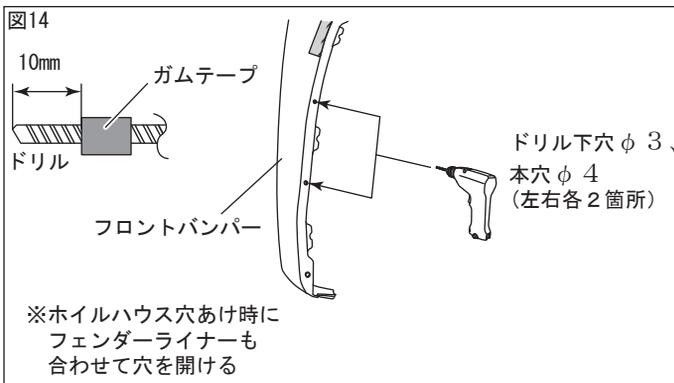
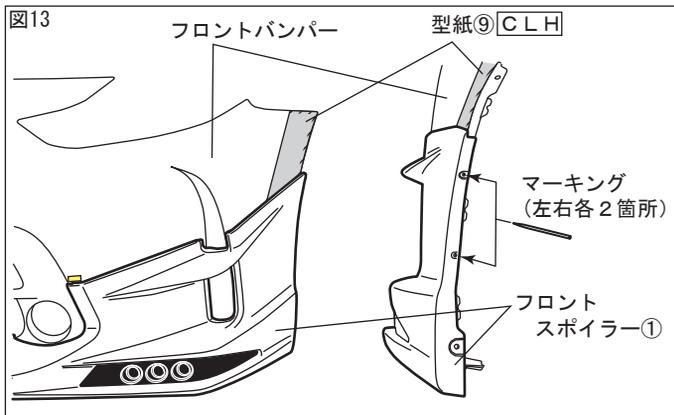
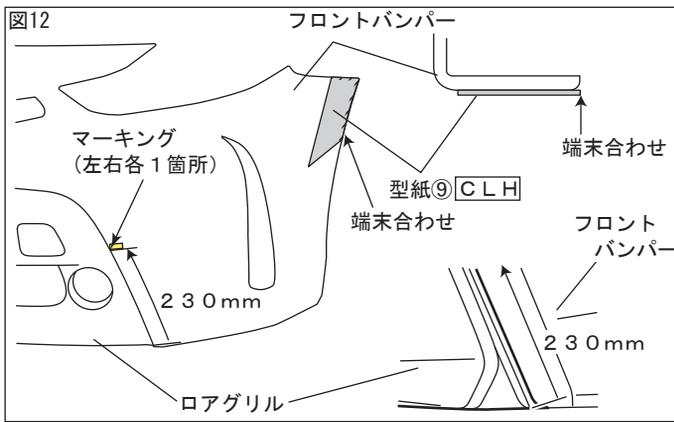
**注意：**作業時は保護メガネを着用してください。

**注意：**バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



- 図11のようにフロントバンパー下側部にグロメット⑤を差し込む。  
(左右各 1箇所)

**注意：**グロメット⑤の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー⑥が取り付けなくなります。



9. 型紙⑨ [CLH]、[CRH]を図12のようにフロントバンパーのフェンダー部に貼付ける。  
(左右各1箇所)

10. 図12のようにフロントロアグリル下端から面沿いで230mmの高さにマーキングする。  
(左右各1箇所)

11. 図13のようにフロントスポイラー①を型紙⑨ [CLH]、[CRH]の高さに合わせて穴センターをマーキングする  
(左右各2箇所)

**アドバイス**：マーキングする際、作業3で空けた穴とフロントスポイラー①の穴が合っていることを確認してください。

12. フロントスポイラー①を取外し、図14のようにφ3、φ4のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。  
(左右各2箇所)

13. 図14のように下穴にφ4のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(左右各2箇所)

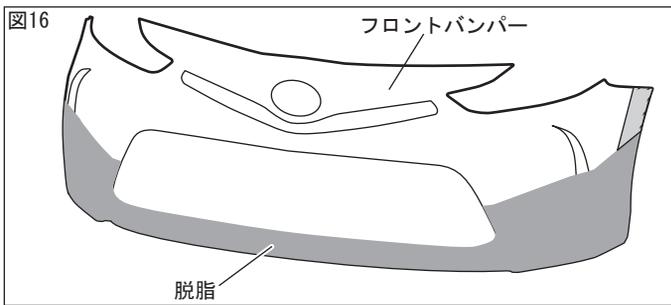
**アドバイス**：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

**注意**：作業時は保護メガネを着用してください。

**注意**：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

14. 図15のようにフロントバンパー下面を固定している車両タッピングスクリューを取り外す。  
(左右各1箇所)

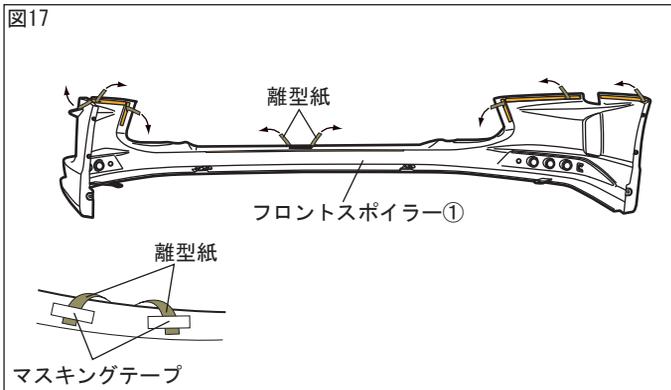
**注意**：取外した車両タッピングスクリューは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



15. 図16のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください

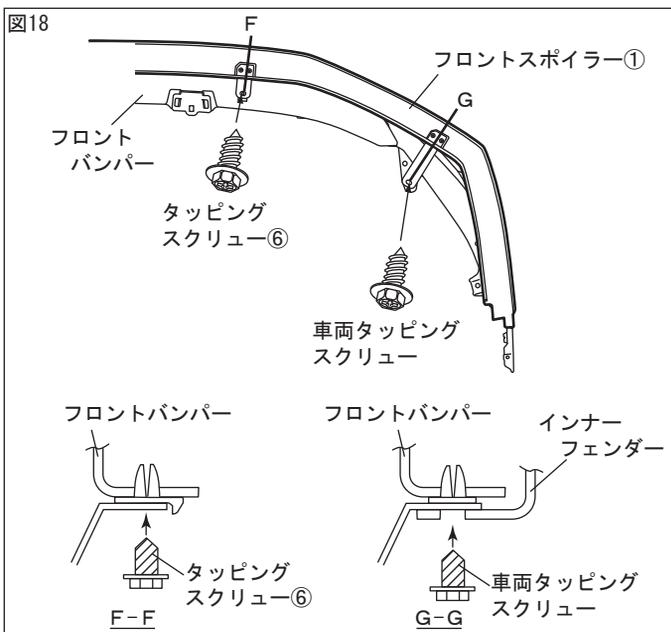
⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



16. フロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、図17のように中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(8箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

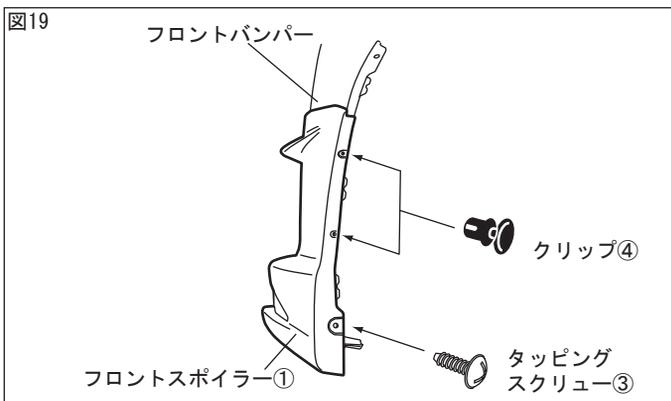
⚠注意：デイトムランニングライト取付けの場合は、デイトムランニングライトの取付・取扱要領書の指示に従い取付け作業に戻ってください。



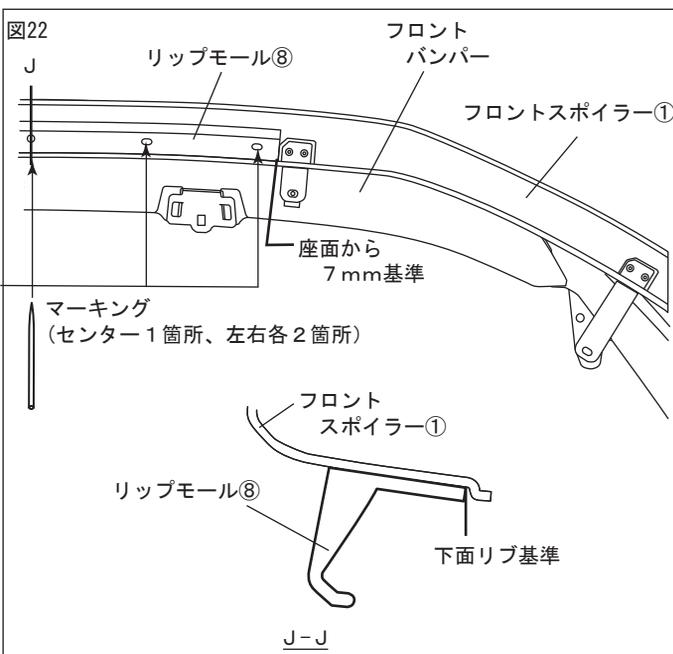
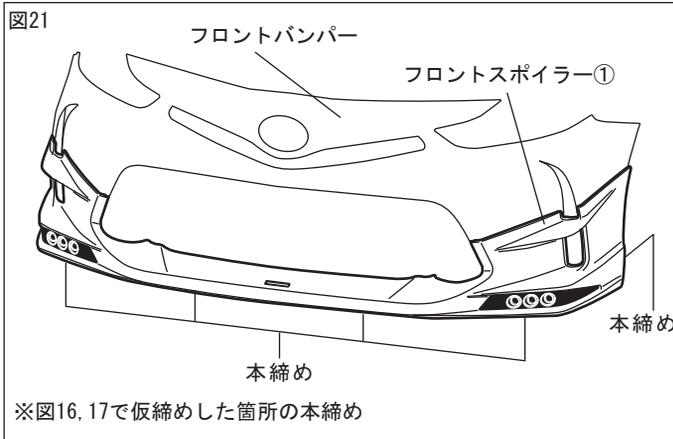
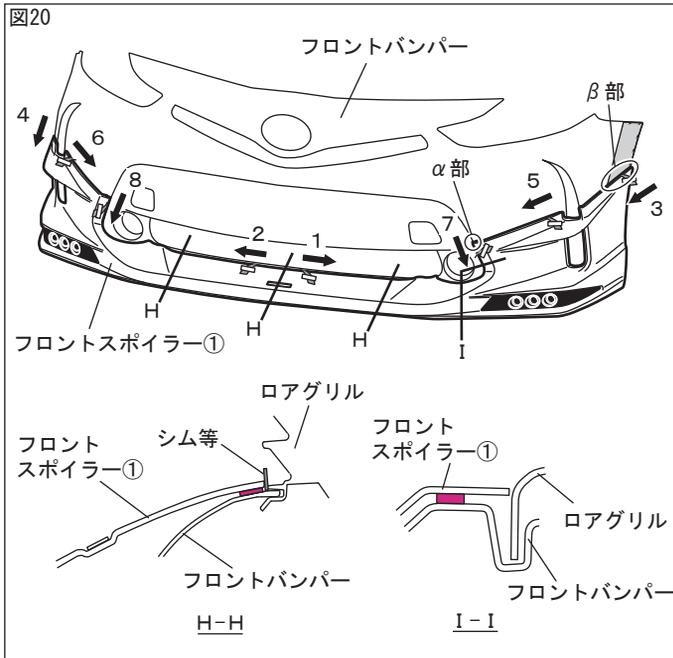
#### □取付要領

- 図18のようにフロントスポイラー①をフロントバンパーにかぶせ、タッピングスクリュー⑥仮締めする。(左右各1箇所)
- 図18のように車両タッピングスクリューを仮締めする。(左右各1箇所)

⚠注意：車両タッピングスクリュー部はフロントバンパーとインナーフェンダーを挟んで取付けてください。



- 図19のようにホイールハウス部をクリップ④で固定する。(左右各2箇所)
- 図19のようにホイールハウス部をタッピングスクリュー③で仮締めする。(左右各1箇所)



5. 図20のα、β部の高さ位置にフロントスポイラー①を合わせる。  
(左右各2箇所)

6. 図20の断面図を参考にフロントスポイラー①とロアグリル縦サン間に厚さ1mmのシム等を挟み、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙(8箇所)を左図番号順に剥がしながら貼付け、確実に圧着する。  
{49N(5kgf)以上}

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び貼付け部をドライヤー等で40℃程度に暖めて下さい。

👉アドバイス：厚さ1mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約1mmのワッシャー等で代用してください。

⚠注意：センター部の両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

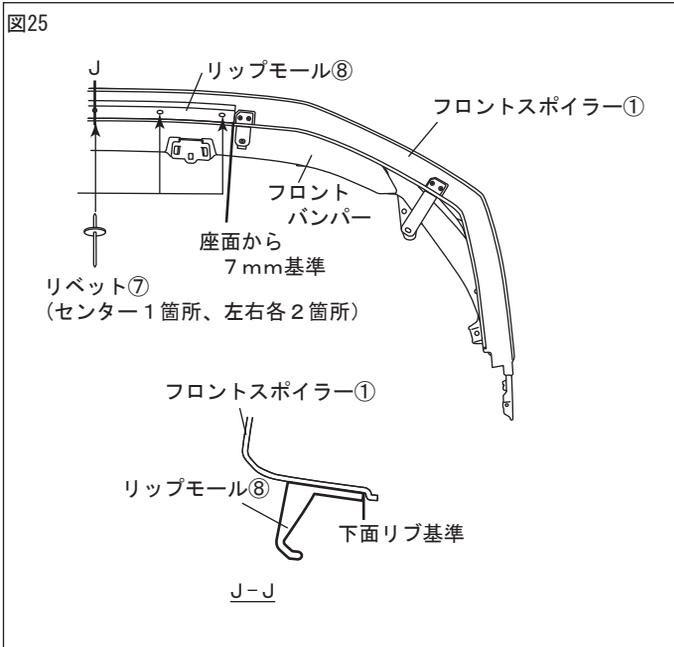
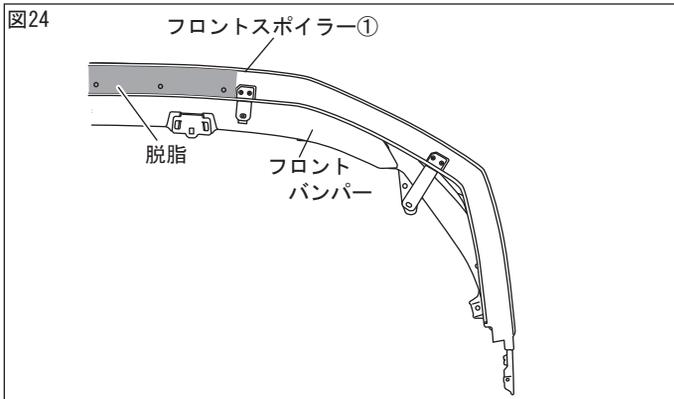
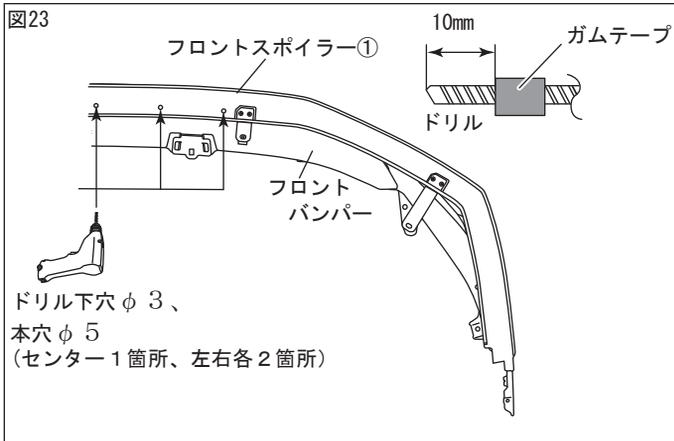
👉アドバイス：離型紙を剥がす前に断面I部のスキが均等になるように位置を出し、圧着後干渉がない様にしてください。

7. 図21の仮締めしておいた下面のタッピングスクリュー⑥、車両タッピングスクリューを本締めする。  
(左右各2箇所)

8. 図21の仮締めしておいたホイールハウスのタッピングスクリュー③を本締めする。  
(左右各1箇所)

9. 図22のようにフロントスポイラー①下面にリップモールド⑧を合わせて穴位置をマーキングする。  
(センター1箇所、左右各2箇所)

👉アドバイス：マーキングする際、フロントスポイラー①の座面、リップにリップモールド⑧が乗り上げていないことを確認してください。



10. フロントスポイラー①を取外し、図23のようにφ3、φ5のドリルの先端にストッパーになるようゴムテープを巻きつけ、φ3のドリルを使用してホイルハウス部のマーキング位置に下穴をあける。  
(センター1箇所、左右各2箇所)
11. 図23のように下穴にφ5のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(センター1箇所、左右各2箇所)

**アドバイス：**穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

**注意：**作業時は保護メガネを着用してください。

**注意：**バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

12. 図24のようにフロントバンパーのフロントスポイラー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

**警告：**ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください

**注意：**脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

13. リップモール⑧の離形紙を剥がし図25のようにフロントバンパーに貼付け圧着後、穴位置をリベット⑦(5箇所)にて組付けする。  
{49N(5kgf)以上}

**注意：**両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び貼付け部をドライヤー等で40°C程度に暖めて下さい。

**注意：**両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

**注意：**両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

#### ■ 取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
TRD商品問い合わせ窓口  
TEL:050-3161-2121  
<https://www.trdparts.jp/>

